

階級的警戒心を高め 国鉄決戦勝利にむけ闘いぬこう

国鉄決戦が正念場をむかえ、国鉄労働者が分割・民営化反対の旗を守りぬぎ勝利してきている中で警察権力は今年に入ってから組合員宅へ「聞き込み」と称して訪れ、労働組合への不当な介入策動―動労千葉破壊攻撃に出てきている。追い詰められているのは中曽根・権力だ。断固粉碎し闘いぬこう。

国鉄決戦の勝利と

中曽根のあせり

昨年末から今年にかけての国鉄労働運動をめぐる攻防の中、当局・革マル松崎らが企図した「一企業一組合」産報化」路線が、動労総連合の結成、あるいは、国労の戦闘的労働者の決起によって粉碎され、日本労働運動の新たな展望が切り拓かれるという大きな勝利が勝ち取られてきた。

この勝利に恐怖した、日帝・中曽根の最悪の暴力装置である警察権力は、今年に入ってからすでに二五名におよぶ組合員宅への「聞き込み」と称する攻撃をくわえてきている。

警察権力の不当介入を粉碎

内容は、「列車妨害について何か知らないか」「ゲリラ事件についてはどうか」などと、動労千葉とは何ら関係ないことを持ち出し、挙げ句の果ては「分割・民

営化の大変な時期なので顔つなぎに来た」「何かのときには協力してほしい」と組織かく乱を狙うと同時に、権力への「スパイ」を強要するという全く不当な介入、弾圧を行ってきている。しかし、これらの警察権力による「聞き込み」攻撃は、組合員の断固とした対応により粉碎されている。

追い詰められているのは

中曽根・警察権力だ

この警察権力の攻撃は、動労千葉を先頭とする国鉄労働運動の勝利が中曽根の「戦争政治の総決算」プランをガタガタと揺さぶり、追いつめていることへの恐怖の現われである。

このような警察権力による不当な介入策動を断じて許さず、組合員一人ひとりが階級的警戒心を高め、さらに闘いぬこう。

故小西のぶ子さんの死を悼む

二月七日、午前七時五十分、反戦被爆者の会会長・小西のぶ子さんが亡くなられ、九日、午後一時より葬儀がしめやかに行われました。小西さん自身、被爆者として八十年の生涯を反戦・反核闘争に捧げきり、三里塚・動労千葉の闘いに対しても最後まで連帯・激励をして下さいました。われわれ動労千葉も、小西さんの意志を引き継ぎ、三里塚・国鉄決戦勝利まで闘いぬく決意です。謹しんで、ここに哀悼を表すものです。

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

組合員宅への「聞き込み」と称する

警察権力の不当介入を許すな！